

読者プレゼント

完全無添加! 岐阜の薬草を使った 「GIFU COLA」を 【ぎふコーラ】 プレゼント!!



今回の読者プレゼントは、記事の着想の元になったクラフトコーラ「ぎふコーラ」です!濃縮タイプの「コーラの原液」なので、飲むときは炭酸などで割っていただきます。ぎふコーラとの出会いは岐阜市美殿町にあるオーガニックな飲食店「ナチュラルベース」。

こちらの店主さんは、地元の薬草を使ったこのクラフトコーラの生みの親でもあり、お店のメニューの中には、ぎふコーラを調味料として使ったお料理もあるんだとか。使われている薬草は、岐阜県揖斐川町で採れるヨモギ、カキオドシ、ドクダミ、ヤブニッケイの4種。無農薬の地で育った薬草の他に、スパイス・柑橘類・きび砂糖などを煮込んで作られています。

初めて飲んだのはシンプルな炭酸割りではなく「ウイスキーが入った炭酸割り」でした。もともとクセのあるウイスキーが好きなもので、薬草の独特な香りと甘すぎないスッキリとした味わいに2杯、3杯と飲み進んでしまいました。基本は炭酸割りですが「冬はホットミルク」で割ったり、アルコールを加えるならばウイスキーの他にも「ジン」や「ラム」なども良さそうです!

岐阜の薬草文化が味わえる!
GIFU COLA【ぎふコーラ】を
ぜひご賞味ください。

【ぎふコーラ】: <https://gifucola.shop>



応募方法: 弊社HPからご応募ください。 <https://www.nbr.co.jp> 締め切り: 2022年12月末

NBR Study Navi

最新のNaviはHPでもご覧いただけます。
ご不明点等、どんなことでもお気軽にお問い合わせください!

NBR Study Navi 第72号

各種誘発電位

誘発電位(evoked potential)は、体性感覚(皮膚感覚 などの身体感覚)、聴覚、視覚の機能検査の手段として用いられます。NBRで実績のあるこれら手法を用いた有効性の評価及び安全性の評価の一例をご紹介します。

NBR Study Navi 第71号

常染色体優性夜間前頭葉てんかんモデル

今月号は、当社グループ会社の株式会社オリエンタルバイオサービスで作出した、てんかんラット(pCIneoPDGFβ chrna4S284L)を用いた常染色体優性夜間前頭葉てんかんモデルのご紹介です。

NBR Study Navi 第70号

早期に開始可能な試験

今回は、今月ご依頼いただければすぐに開始可能な試験として「薬物動態試験」及び、「感染試験」をご紹介します。

NBR Study Navi 第69号

NBRの安全性試験のご紹介

弊社では、医薬品、医療機器ならびに再生医療等製品等の安全性試験を実施しています。今回はミニプタ試験の実績と特殊な投与経路についてご紹介します。



●表紙コメント

色づく稲穂×ドクターイエロー～伊吹山を背に～
黄金色に輝く稲穂とドクターイエローの黄色いコラボレーションに、今回の記事にもなった伊吹山を背景に収めました。新幹線のお医者さん、ドクターイエローの運行情報は非公開ながら、色々ところで予想されている情報を頼りに足を運びました。通過する一瞬のシャッターチャンスを見逃さずと緊張して撮影しました。ドクターイエローはその珍しさから、見ると幸せになれるという噂も? 皆様に幸せが訪れますように!

編集後記

大学時代には薬用植物の授業があまり好きではありませんでした(東洋医学ご担当の委託者様ごめんなさい汗)。ケミカルな話のほうが華々しく見えて、落ち着いた感じの生薬には興味が持てませんでした(ミーハーな学生ですね)。しかし、今は、歳をとったのか、知見が広がったのか、薬用植物の考え方や実際の香りがとても好きです。疲れたとき、気分転換したいとき、喉が渇いたときなど、ぎふコーラを飲んでシャキッと元気になってみるのはいかがでしょうか。今後ともご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

弊社は「AAALAC International」の認証を取得しています。



弊社は、HS財団動物実験認定施設です
株式会社日本バイオリサーチセンター
<https://www.nbr.co.jp/>
〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地
TEL 058-392-6222(代表) FAX 058-392-2432

NBR Times

(株)日本バイオリサーチセンターの「旬な話題」を発信する、コミュニケーションマガジン

www.nbr.co.jp September 2022



色づく稲穂×ドクターイエロー
～伊吹山を背に～

みどころ情報

- 岐阜は製薬発祥の地?! 第一弾
～製薬の先陣は天武天皇である説～
～伊吹山と薬草と織田信長～

NBR通信

- 第96回日本薬理学会年会
- メディカルメッセ

- 読者プレゼント
- 編集後記
- NBR Study Navi



vol.036

岐阜は製薬発祥の地?! 第一弾

タイトルを見て驚かれた方もいると思います。実は、岐阜は製薬発祥の地(かも?!)といわれているそうです。調べていくと、興味深い岐阜における製薬の歴史が見えてきました。今回より数回にわたって岐阜と製薬の関係性について迫っていききたいと思います!

～製薬の先陣は天武天皇である説～

実際に薬が使われた時期は詳らかではありませんが、漢方の技術と薬物は欽明天皇の13年(552年)頃に入ってきていると言われています。その後の鎌倉以降(685年)、天武天皇が病気を患った時のことです。天皇の病気を治療するため僧にオケラという薬草を煎じて薬を作らせたことが日本書紀の最古の記述として残っており、これが製薬の発祥と言われていいます。この際に百済の僧を派遣し、薬を煎じた地が美濃の国(岐阜県)でした。この出来事が、岐阜が製薬発祥の地と言われる所以だそうです。



オケラ(生薬名:ピャクジュツ)
日本では、本州・四国・九州に生息するキク科の多年草。根茎が薬用部位となり、整腸作用等がある。若芽は山菜として食べられている。

実は天武天皇は、672年に起きた壬申の乱で挙兵するまで、美濃で一時的に過ごしていたそうです。そのこともあり、美濃の土地柄に詳しく、薬草のある場所も知っていたのかもしれない。

ちなみにオケラは、利尿効果や胃腸の調子を整える作用があるそうで、「天皇はお腹を壊していたのでは?」と推理する人も……。そうは言っても、まだまだ真偽を判別するには至らず、今でも「日本の製薬発祥の地」を検証する研究は続いているそうです。



天武天皇

岐阜県には天武天皇の代表的な事柄ともいえる、壬申の乱に関する跡地もたくさんあります。



岐阜新聞Webの2022年1月17日の記事 (<https://www.gifu-np.co.jp/articles/-/33282>) 参考

「第96回 日本薬理学会年会」

期 間：2022年11月30日(水)～12月3日(土)

会 場：パシフィコ横浜

第96回日本薬理学会年会にて発表予定です。
また、ブースも出展予定ですので、是非、お立ち寄りください!

発表予定演題

表 題：S284L変異トランスジェニックラットの常染色体優性夜間前頭葉てんかん症状の評価
発表者：パブラック晶子

「メディカルメッセ」

期 間：2022年12月13日(火)・14日(水)

会 場：メディカルメッセ特設Webサイト(オンライン会場)、名古屋商工会議所(リアル会場)

オンラインとリアルのハイブリッドで開催される。医療×モノづくり技術の展示商談会「メディカルメッセ」に出展予定です。是非、お立ち寄りください!

～伊吹山と薬草と織田信長～

今回、岐阜県と製薬の関係を調べていくと岐阜県は古くから薬との関わりがあり、さらに岐阜県と滋賀県の境に存在する伊吹山が製薬にとって欠かせないことが判明しました! 伊吹山は古事記や日本書紀にも登場し、古くからの霊峰とされている山です。古来薬草の宝庫として知られている伊吹山は、平安時代には伊吹山麓の薬草が宮中にも献上されています。伊吹山の気候は、滋賀県(日本海側)と岐阜県(太平洋側)の県境を形作る複雑な立地環境により、伊吹山が日本海の若狭湾と太平洋の伊勢湾を結ぶ風の通り道の「壁」になるため独特な気候が生み出されています。その環境が多様な植物社会を生み、植物は知られているだけでも1300種類生息しており、そのうちの280種類(全植物の2割強)が薬草です。



キバナノネリンソウ



イブキノエンドウ



イブキカモジクサ

では何故、伊吹山に多くの薬草やヨーロッパの植物が生息しているのでしょうか。時代を遡ること1568年、織田信長は岐阜に入城した翌年にポルトガルの宣教師のすすめで、伊吹山に東京ドームおよそ11個分の薬草園を作ったことが江戸時代の様々な書物に記述がありました。当時、ヨーロッパより持ち込まれた薬草は約3000種類もあったそうです。今も伊吹山に自生しているキバナノネリンソウ、イブキノエンドウ、イブキカモジクサ(いずれも牧草に利用されているそうです)という3種はヨーロッパ原産で、当時薬草に紛れて持ち込まれたと言われており、この3種の植物こそ織田信長が伊吹山に薬草園を築いた説の有力な根拠となっています。

岐阜県は古くから薬草の栽培に適した地だったようですね。天武天皇も織田信長もそのことを見抜いていたのでしょうか。戦で生傷が絶えなかった昔の人たちにとって、もちろん西洋医学もなかった時代、薬草は非常に貴重なものだったと推察されます。戦の勝敗を分けるものでもあったのかもしれませんが。そんな歴史ロマンと繋げてみると薬草も違った面白さを感じますね。

NBR開発の安全性試験システム「IBUKI」も伊吹山から名付けました!

伊吹山には山麓から9合目を結ぶ全長17kmのドライブウェイもあり、伊吹山からの素敵な景色を楽しむこともできます。傾斜は最大で10%もあり、まるで空を上っているかのような感覚を楽しめます。ドライブウェイ終点には展望テラス「スカイテラス伊吹山」もあり、天気の良いと比叡山地の山々や琵琶湖をゆっくりと堪能することもできます。

また、スカイテラスには売店もあり、「伊吹薬草ソフトクリーム」や「伊吹そば」など伊吹山でしか味わうことのできないメニューがたくさんです。



伊吹山(いぶきやま・いぶきさん) 所在地:岐阜県と滋賀県 標高:1,377m



伊吹そば

そば発祥の地と言われる伊吹山のNo.1メニューです。伊吹山の山麓で取れたそば粉を使用しています。



伊吹薬草ソフトクリーム

23種類の薬草粉末が練りこまれたミネラルたっぷりの薬草ソフトクリーム。薬草の香ばしさが子供にも人気です。



よもぎソフトクリーム

漢方では生薬として古くから使われているヨモギを使用したソフトクリーム。食物繊維、β-カロテン、ビタミンKが豊富に含まれています。しっかりとヨモギを感じられるすっきりとした甘さのソフトクリームです。

参考 伊吹山(<https://www.kigusuri.com/kampo/furusato/ibukiyama.html>)、伊吹山ドライブウェイ(<https://www.ibukiyama-driveway.jp/>)